

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

**※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。**

**1. 学校概要**

学校名 横浜市立市ヶ尾中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒 225-0024  
神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町531-1

E-mail : ri00-hirakawa@city.yokohama.jp

Website : http://www.cms-school.jp/ichigao/index

児童生徒数：男子 329 名 女子 281 名 合計 610 名  
児童・生徒の年齢 12 歳～15 歳

**2. 担当者** ※公表しません

**3. 実施活動（複数選択可）**

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( 福祉 )

**4. 活動内容**

- (1) 1年間の主な活動内容について記載願います。  
※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

市ヶ尾中学校では、広島への修学旅行で平和教育を行っていますが、ただ単に「戦争がダメ」というだけでなく、国語×英語×社会×理科×美術のクロスカリキュラムで思考体験型の学習を行っています。国語科では、朝日新聞の現役記者に出前授業をしてもらい、記事の作り方を学びました。「ウィキペディアまる写しじゃダメ！意志を持って記事を書け！」に生徒たちは納得感。そして、社会科では、3.11での報道では被災地寄りのニュースをたくさん見る事が予想され、逆に1日5000件のクレームを受けた原発側の方々の立場も知ろうということで、浜岡原発の方に来て出前授業をしていただきました。多面的に意見を聞き、自分の意見を持って話しあうという授業となりました。理科では、東京工業大学の原子炉工学研究所の教授に来ていただき、科学的な立場から核を学びました。英語では、アメリカの教科書ではヒロシマの原爆がどのように扱われているかをリーディングで扱いました。そして、シリアで殉死したジャーナリスト「山本美香という生き方」のビデオを見て、英語で討論しました。そして修学旅行後には、山本美香さんのパートナーだった佐藤和孝さんが来校し、生徒・教職員・保護者・地域で、平和について論議をしました

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）